

笑顔をつくる  
ミライをつくる  
信大病院

# ムミンゴ

NO.105  
2026.6

病院長就任のごあいさつ  
新しいスタッフのご紹介

凍り豆腐が肥満・脂肪肝を  
軽くするかもしれません

不整脈の最新治療機器を  
導入しました

# 病院長就任のご挨拶



## 信州への「想い」とこれまでの歩み

令和8年4月1日付で信州大学医学部附属病院の病院長に就任いたしました、関島良樹（せきじま よしき）と申します。私は長野県飯田市の出身で、平成3年に信州大学医学部を卒業しました。高校時代は野球部、大学時代は軟式庭球部に所属し、勉強そっこのけでスポーツに打ち込む毎日を過ごしていました。卒業後は東京（東京都精神医学総合研究所）で2年間、アメリカ・サンディエゴ（スクリップス研究所）で2年間研究生活を送りましたが、それ以外の期間は長野県内の医療機関で診療・研究に携わってまいりました。美しい自然に恵まれた長野県が私は大好きで、これからも母校である信大病院で仕事ができることを大変うれしく思っています。

## 専門領域と治療の進化

私の専門である脳神経内科は、脳・脊髄・末梢神経・筋肉に関わる病気を扱う内科で、非常に幅広い領域を担当しています。対象となる症状や病気も、頭痛、めまい、ふるえ、しびれ、痛み、脱

信州大学医学部附属病院

脳神経内科 関島 良樹

力、歩行障害、認知症、脳卒中、てんかん、パーキンソン病など多岐にわたります。高齢化が進む日本では、脳神経内科が診療する病気や患者さんは年々増えています。脳神経の病気は、以前は有効な治療法がないものも多くありました。しかし近年、医学研究の進歩により、新しい治療法が次々と開発されています。私たちの教室でも、アミロイドーシスという難病の治療法の開発に長年取り組み、いくつかの治療法が実際の医療として患者さんに届けられるようになりました。研究成果が患者さんの治療につながることは、医師・研究者として何よりの喜びです。

## 安心・快適な医療提供を目指して

信大病院は、「大学病院の使命として診療・教育・研究を遂行し、患者さんの人権を尊重した先進的医療を提供するとともに、次代を担う医療人を育成する」ことを理念としています。当院では大規模な病棟改修を終え、老朽化していた設備や医療機器を更新しました。特別個室群で



グランフロア専用ラウンジ



グランフロア グランA個室

ある「グランフロア」も開設し、ご利用いただいた患者さんからは「ホテル並みの設備と接遇」と好評をいただいています。また、手術支援ロボットについては、従来の「ダヴィンチXi」2台に加え、昨年度に「サロア」、今年度には「ヒノトリ」を導入し、4台体制で低侵襲手術を提供できる体制を整えました。さらに、産科婦人科と麻酔科蘇生科が連携した和痛分娩（無痛分娩）も開始しました。加えて、高難度手術などの安全性をより一層高めるため、医療安全体制の強化にも取り組んでいます。今後も、信大病院での治療を必要とする多くの患者さんに、安全で先進的な医療をお届けできるよう努めてまいります。

## 「人」が支え、信頼で築く 医療のミライ

私は、組織にとって最も大切なのは「人」であると考えています。医療は人が人を支える営みであり、患者さんと医療者の信頼関係の上に成り立っています。医療を取り巻く環境が厳しさを増す中でも、職員一人ひとりが力を発揮できる環境を整え、患者さんに寄り添う医療を実践してまいります。信大病院のキャッチフレーズは「笑顔をつくる ミライをつくる 信大病院」です。この言葉のとおり、患者さんの笑顔やミライにつながる医療を提供するとともに、ミライの医療を担う人

材を育て、ミライにつながる研究を発信する病院であり続けたいと考えています。職員一同、力を合わせてその実現に取り組んでまいります。今後とも信州大学医学部附属病院をどうぞよろしくお願いいたします。



実践的な指導の様子

### Profile

- 1991年 信州大学医学部卒業
- 1991年 信州大学医学部附属病院 研修医
- 1992年 飯田市立病院 内科 医員
- 1994年 長野県厚生連佐久総合病院 神経内科 医員
- 1997年 豊科赤十字病院 神経内科 医員
- 1999年 東京都精神医学総合研究所 分子生物研究部門 研究員
- 2001年 信州大学医学部 内科学第三教室 (脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 助手
- 2002年 米国スクリップス研究所 研究員
- 2005年 信州大学医学部 内科学第三教室 (脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 講師
- 2006年 信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部 准教授
- 2013年 信州大学医学部 内科学第三教室 (脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 准教授
- 2018年 信州大学医学部 内科学第三教室 (脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 教授
- 2026年 信州大学医学部附属病院 病院長

# 新しいスタッフのご紹介

令和8年4月、今年も新たに総勢274名の新入職員が入職しました。

これから信大病院で様々な経験を積み、患者さんのために頑張るニューフェイスたちをご紹介します。

- ①日々のリフレッシュ方法や、あなたの“これなら誰にも負けない!”という**趣味・特技**を教えてください。
- ②この仕事を目指した**きっかけ**があれば教えてください。
- ③**意気込み**や**抱負**を教えてください。



辞令交付



オリエンテーション



## 卒後臨床研修センター

### 服部 ほの花

- ①バイオリン
- ②長野県で地域医療に貢献したいという思いから、信大病院を研修先を選びました。

たすきがけプログラムを通じて、大学病院の専門的医療と地域医療の双方を学べる点にも魅力を感じました。

③どんな主訴の患者さんにも向き合える医師を目指したいです。患者さんの生活背景にも寄り添いながら判断力を磨き、日々の研修で得た学びを地域医療にも還元できるよう成長したいと思います。



## 東3階病棟 看護部

### 笠原 彩花

- ①お菓子作り
- ②私は小さく生まれ、NICU や小児科で看護師さんに支えられて育ちました。

いつも笑顔で寄りそう姿に憧れ、看護師を目指しました。また、家族のエンゼルケアに立ち会い、人の誕生から最期まで寄り添える看護師になりたいと思うようになりました。

③特定機能病院としてさまざまな患者さんと関わり、最先端の医療や看護を学べる環境に魅力を感じ、この病院を選びました。現在は、自分の未熟さを痛感する日々ですが、先輩方に支えていただきながら学びを深め、患者さんに安心感を与えられる看護師を目指して成長していきたいです。



## 放射線部

### 遠山 琉星

- ①旅行・映画鑑賞・ライブ
- ②私が診療放射線技師を志したきっかけは、高校2年時に参加した病院見学

でした。医療現場で診療放射線技師の方々が働く姿を間近に見て、画像診断や治療を支える役割に魅力を感じ、「私も診療放射線技師として、診断や治療の一助になりたい」と強く思いました。

③信大病院を選んだ理由は、高度な医療環境の中で、診療放射線技師としてのスキルを高め、地元である長野県の医療に貢献したいと考えたからです。日々進歩する医療技術に対し、学び続ける姿勢を大切にしながら、患者さんの不安を少しでも取り除けるような思いやりを持った診療放射線技師を目指します。

左から小倉 世椰、遠山 琉星、寺澤 侑華



## 薬剤部

### 松澤 秀之

- ①カフェめぐり
- ②私は小さい頃、喘息を患っており、毎晩のように喘息を発症しておりました。

当時の私は、息苦しい時に薬を使用することによって、咳が治まっていくことに驚きました。その体験より、私は薬へ興味を持ち、薬剤師を目指しました。

③私は薬剤師としてまだまだ未熟です。まずは薬剤師として、どのような薬でもその特徴を理解し、わかりやすく説明できる『ジェネラリスト』を目指します。将来的には専門資格を取得し、そのスキルを活かして、患者さんが安心して薬物治療を受けられるよう支え、長野県の医療へ貢献したいと考えています。





### 臨床栄養部

## 武田 夢

- ①自然ドライブ
- ②入院した際に、食事が毎日の楽しみとなり、明るい気持ちになれたという経験から、患者さんにとって

食べる楽しみを支える存在となり、治療に前向きになれる管理栄養士を目指したいと思い、志望いたしました。

③今年度より管理栄養士として就職いたしました。武田夢と申します。入院した際に、医療を提供する全ての方に温かく接していただき、その姿に憧れて、私も信大病院の一員として患者さんのために働きたいと考え、信大病院を志望いたしました。患者さんの声に耳を傾け、その思いを栄養ケアに反映できる管理栄養士を目指しております。よろしくお願いたします。



### 臨床工学部

## 小林 嵩弥

- ①テレマークスキー
- ②元来、医療ドラマをきっかけに医療分野に関心を抱きました。その後、職業体験を通じて臨床工学

技士の現場を見学する機会があり、高度で精密な医療機器を扱いながら患者さんの治療や生命維持を支える姿に強い憧れを抱き、本職種を志しました。

③長野県の急性期医療を担う大学病院として、幅広い業務を経験できる教育体制に魅力を感じ、信大病院を志望いたしました。地元の医療に貢献できるよう、今後は様々な経験と日々の研鑽を通して、安全な医療機器の管理・運用に努めるとともに、多職種と連携しながらチーム医療の一員として尽力してまいります。



### リハビリテーション部

## 中屋 遥

- ①旅行
- ②患者さんの回復に寄り添いながら、治療中のみならず治療後や退院後の在

左から寺島 千加、中屋 遥、常国 美月

宅での生活など、様々な場面で日常生活をより良くするお手伝いができる仕事に魅力を感じ、理学療法士を志しました。

③今年度より理学療法士として就職しました、リハビリテーション部の中屋遥と申します。様々な患者さんと接し学びながら働きたいと思い、信大病院に就職させていただきました。先輩方や同期の仲間、患者さんから多くを学び、成長していけるよう日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



### 臨床検査部 検体検査室

## 奥原 京佳

- ①水泳・温泉・劇団四季
- ②私は競泳の池江璃花子選手が白血病になったことがきっかけで検査で病

気の早期発見や診断を支える臨床検査技師に興味を持ちました。私自身が水泳をやっていたので憧れの池江選手をまた水泳界の第一線に戻した医療の世界に入りたいと思ったからです。

③私は基本を大切に、一日でも早く一人前の臨床検査技師として現場で貢献できるよう努力します。正確で迅速な検査技術の習得に努めるとともに、責任感を持って業務に取り組みます。そして先輩方から積極的に学び、知識と経験を積み重ね、安心で質の高い医療に貢献していきたいです。



### 特殊歯科・口腔外科

## 矢崎 慶都

- ①読書・ダンス
- ②身近な人に歯科衛生士として働いている人がおり、その人の話を聞く中で

口腔ケアの大切さに興味を持つようになったのがきっかけです。予防を通して人の役に立てる仕事に魅力を感じ、歯科衛生士を目指すようになりました。

③まだ経験は浅いですが、様々なことを学び、基礎からしっかり身に付けていきたいです。幅広い症例に関わる口腔外科で専門性を高め、患者さんやスタッフに信頼していただける歯科衛生士を目指し日々努力していきます。



### 附属病院 総務係

## 中村 泰地

- ①散歩・温泉巡り
- ②学校現場で様々な経験を積む中で、スタッフが日々の活動に専念できる

環境を整える「裏方としての役割」に魅力を感じるようになりました。

③「教育に携わりたい」という思いを軸に働く中で、人が成長し活躍するためには、基盤となる環境の維持が不可欠だと実感しました。大学病院という高度な医療と教育が交わる現場で、教職員や医療スタッフが職務に専念できるよう、事務の側面から支えていきたいです。一日も早く力になれるよう、一生懸命頑張ります。



# 2025年度患者経験価値 (PX) 調査結果のご報告

2025年9月～10月に実施した「患者経験価値 (PX) 調査」にご協力いただき、ありがとうございました。これまでの患者満足度調査から、より具体的な患者さんの経験をお聞きする「患者経験価値 (PX) 調査」へ調査方法を変更しました。入院・外来ともに多くの患者さんからご協力いただき、誠にありがとうございました。

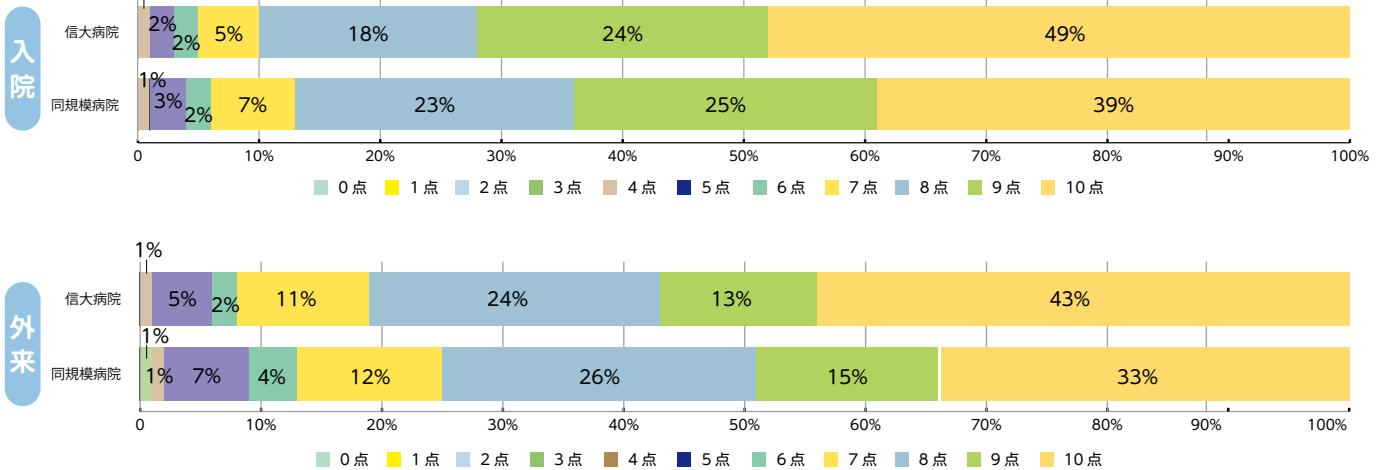
皆さまからのアンケート結果を今後を活かし、信頼され、安心してご利用いただける病院づくりを進めてまいります。

## 調査報告

### 【総合評価】

※信大病院を0～10点で評価

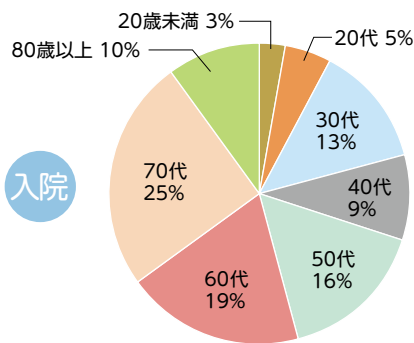
※グラフの値は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



### 【調査概要】

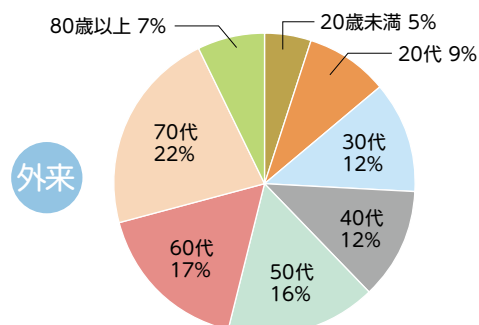
調査日：2025年9月8日(月)～10月31日(金)

回収数：393枚



調査日：2025年9月10日(水)・11日(木)

回収数：571枚



### 【結果全体について】

総合的な満足度では8点以上の高評価を、**外来で約80%、入院では約91%**という大変心強い評価をいただきました。

なかでも「病院の環境」については、**全体平均を上回る**という結果になりました。昨年度まで実施していた大規模な病棟改修により、皆さまに少しでも快適な療養環境を提供できているのであれば、病院職員一同大変嬉しく思います。

また、看護師および医師とのコミュニケーションについても、全体平均を上回る温かい評価をいただきました。病気への不安を抱える皆さまに寄り添う姿勢を大切にしてきた結果と受け止めておりますが、この評価に甘んじることなく、今後も「心通う接遇」に磨きをかけてまいります。今回のアンケート結果や、日々の患者ご意見箱の声をもとに、具体的な改善を進めていきたいと思っております。これからもどうぞよろしく願いいたします。

文責：内田 緑

# 不整脈の最新治療機器を導入しました (EV-ICD)

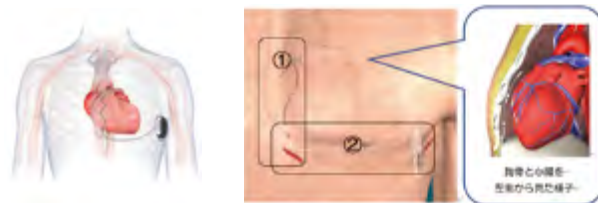
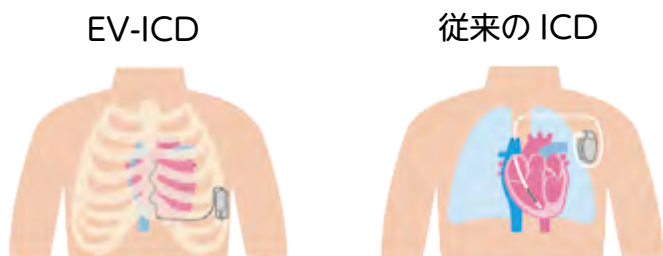
## 突然死を招く危険な不整脈

心臓は、心筋という筋肉でできており、体全体に血液を送り出すポンプの役割をしています。心臓の中は、左右それぞれが心房、心室と呼ばれる部屋に分かれており、心臓自体が発した電気刺激によって、心房と心室が順番に規則正しく収縮と拡張を繰り返すことで、血液を全身に送り出しています。この電気刺激がうまく出せなかったり、伝わらなかったりすることで、心臓の拍動が速くなったり（頻脈）、遅くなったり（徐脈）、不規則になったりすることを不整脈といいます。不整脈の中には心室頻拍や心室細動のような突然死に繋がる可能性のある重症の不整脈があり、発症するとすぐに命を落とす危険があります。（図1）



## 心臓突然死予防の治療法は？

重症の不整脈に対しては、植込み型除細動器（ICDアイシーディー）という医療機器による治療が有効です。（以降は「ICD」と略記載します）ICDは、異常な心臓のリズムを検出し、ペーシングや電気ショック（電氣的除細動）により治療することができる医療機器です。



## 最新の植込み型除細動器

従来からのICD治療は2種類ありました。①血管内にリード（導線）を留置する経静脈植込み型除細動器（TV-ICD）ですが、リードを血管から心臓内に固定するため、リード断線や血管閉塞、弁膜症、感染等のトラブルが発生することがあります。また心臓内に留置したリードがずれないように、術後暫くの上肢可動域制限が必要となります。②本体もリードも皮下に植え込まれる皮下植込み型除細動器（S-ICD）が使用できるようになりましたが、リードが心臓から離れているために、不整脈を止める除細動エネルギーも多く必要であるため、電池が大きい割には寿命が短い等の難点がありました。

今回新しく導入された3番目のシステムが血管外植込み型除細動器（EV-ICD）システムです。胸骨の下に留置されたリードが不整脈を感知します。リードが心臓により近くなったことで皮下よりも脈の感知がしやすく、血管の外側に挿入されるため血管のトラブルや弁膜症等の合併症もなくなりました。また除細動エネルギーも少なくすみますので電池は小型化し、かつ電池寿命は延びたため電池交換の頻度も少なくなります。身体的負担が軽減されますので、リードが電池は小さく寿命は長いので傷口も小さくなります。また静脈から挿入する必要がないため、血管のトラブルや弁膜症等のリスクもありません。（図2）



当院は心臓突然死で苦しむ患者さんのために最先端の治療をおこなってまいります。

文責：循環器内科 岡田 綾子

## 院内フリーWi-Fiの利用エリア拡大について

日頃より当院をご利用いただき、誠にありがとうございます。本年1月6日より、これまで病棟のみに提供していたWi-Fiサービスを、外来エリアへ大幅に拡大いたしました。診察や検査の待ち時間を、より快適に、有効にお過ごしいただけるよう環境を整えております。ぜひご利用ください。

### 新たに利用可能となったエリア

- 外来診療棟：1階ホスピタルモール、1～3階待合スペース
- 中央診療棟：1階画像検査待合スペース
- その他：イートインスペース、高度救命救急センター

### 接続情報の確認方法

セキュリティ保持のため、接続用のパスワードは定期的に変更しております。最新の接続情報は、各エリアの以下の場所に掲

示しておりますので、ご確認ください。

- ・外来各階待合前のサイネージ画面下部
- ・ホスピタルモール向かいの掲示板、イートインスペース向かいの掲示板

### ご利用にあたってのお願い

- 病院内ではマナーを守り、周囲の患者さんのご迷惑にならないようご注意ください。
- 音声や動画を視聴される際は、必ずイヤホンをご使用ください。
- 歩きながらのスマートフォン等の操作は大変危険です。お控えください。                      文責：医療支援課

信大病院ホームページ  
院内公衆無線LAN・Wi-Fiスポットについて▶



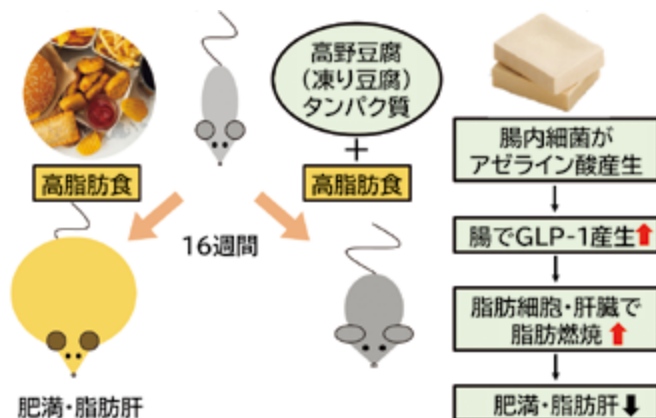
# 凍り豆腐(高野豆腐)が肥満・脂肪肝を軽くするかもしれません!

はじめまして、信州大学医学部 国際医学研究推進学教授の田中直樹と申します。専門は肝臓病学です。「信州の農産物・食品で脂肪肝を予防したい」と考え、長年にわたり県内企業の皆様や工学部・農学部の先生方と研究してきました。この度、株式会社旭松食品（長野県飯田市）とのコラボで、「凍り豆腐の肥満・脂肪肝予防効果」を発見しましたので、ご紹介させていただきます。

信州は全国の凍り豆腐の9割以上を生産している「凍り豆腐大国」です。凍り豆腐は食後の血糖値を下げる事が報告されていましたが、その理由は不明でした。今回、凍り豆腐たんぱくを高脂肪食に混ぜてマウスに投与し、その効果を調べました。

その結果、凍り豆腐たんぱくに反応して、腸内細菌がアゼライン酸という物質を作り出し、腸でのGLP-1産生を高めて、体内の脂肪を燃焼させることが分かりました。GLP-1は肥満症治療薬としても注目されています。マウスの実験ではありますが、似たようなことが人でも起きているかもしれません。

高野豆腐タンパク質・レジスタントプロテインは  
高脂肪食による肥満と脂肪肝を軽減する  
(Diao and Zhang et al. Int J Biol Macromol 2025 Dec 6: 149537)



皆様も、信州の誇るスーパーフード凍り豆腐をお食事に取り入れて、メタボを予防していただきたいです。お勧めのレシピは凍り豆腐の卵とじ、凍り豆腐のフレンチトーストですが、くれぐれも「食べ過ぎ」にはご注意ください!

興味のある方は、  
こちらをご覧ください。

信大独創図鑑  
(わかりやすい)



信大医学部 HP  
研究・トピックス



## 電話番号表

(市外局番 0263)

予約専用AI電話：050-1724-9464

外来予約・変更・キャンセル・予約確認の連絡はこちら  
お掛け間違いにご注意ください

患者さん専用ナビダイヤル：0570-00-3010

### ■ 医事課

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

### ■ 医療支援課

診 断 書 係	37-2762
---------	---------

### ■ 患者サポートセンター

総合医療相談室	37-3390
がん相談	37-3045

セカンドオピニオン外来受付	37-3111
医療や治療についての相談	37-3390
移植に関する相談	37-2930
医療福祉相談	37-3390
こころの相談	37-3390
栄養相談	37-2764
薬の相談	37-3013
医事相談	37-2762
地域医療連携支援室	37-3370

くすりの相談室	37-3013
高度救命救急センター	37-2222
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220
肝疾患診療相談センター	37-2922
生殖医療センター	37-3106
入 退 院 支 援 室	37-3175

相談窓口 受付時間：月～金（祝除く）  
9時～17時

## 編集後記

新緑の美しい季節となりました。今号では、関島新病院長のご挨拶をはじめ、総勢274名のフレッシュな新入職員の中から、各部署の代表の方をご紹介します。また、当院に導入された最新の不整脈治療機器や、外来へ拡大したフリーWi-Fiサービスなど、より快適で先進的な医療環境への取り組みもお届けいたしました。さらに、信州のスーパーフードである「凍り豆腐」が肥満や脂肪肝を軽減するという、地元の食にまつわる大変興味深い共同研究も掲載しています。今後も皆様の「笑顔とミライ」に寄り添う温かい情報発信に努めてまいります。

広報企画室長 工 稷

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前：写真のタイトルをご記入の上、  
byouin\_kouhou@gm.shinshu-u.ac.jp  
へお送りください。  
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】 信州大学医学部附属病院 総務課  
総務係 TEL:0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付

